

ROTARY OPENS OPPORTUNITIES

ロータリーは機会の扉を開く

2020～21 年度年度

国際ロータリー会長 Holger Knaack



東京麹町ロータリークラブ

本日の例会プログラム

第 17 例会 2020.12.7 (#2291) 会場: 舞の間

例会ホスト・紹介係 鈴木君 会費係 地引君
受付係 保科君 藤谷君
司会者 井関君 ソングリーダー 藤田君

卓話「アートのカ、なぜアートか」

学校法人武蔵野美術大学理事長 白賀 洋平氏
紹介者 乳井会員

前回の報告

第 16 例会 2020.11.30 (#2290) 会場: 舞の間

例会ホスト・紹介係 吉田君 会費係 加賀君
受付係 新保君 荒川君
司会者 木寅君 ソングリーダー 井関君

卓話「私のコロナ罹患記」

元 NHK アナウンサー 住吉 美紀氏
紹介者 秋山会員

会長報告

- 1) 本日は、元NHKアナウンサー住吉美紀さまにお越し頂きました。御自身の新型コロナウイルスに罹患した経験をお話し下さいます。
- 2) 訃報です。元会員の杉原弘泰氏が病氣療養中でしたが、28日に永眠されました。謹んで御冥福をお祈り申し上げます。2日(18:00～)通夜、3日(10:00～)告別式を桐ヶ谷斎場にて行われるそうです。また、名誉会員の柳谷一雄氏も5月にご逝去されました。お二人の偉大なる先輩をしのんでご冥福を祈り黙祷をささげたいと存じます。
- 3) 残念ながら、新型コロナウイルスの感染が拡大しております。健康に留意してすごしましょう

幹事報告

- 1) 来週は、クラブ年次総会が御座います。例会終了後、会員の皆様は宜しくおねがい致します。その後定例理事会も御座います。
- 2) 地区より、6月の台北国際大会参加の呼び掛けがございました。早期割引が12月15日(日)が2月15日まで延長され、登録料が\$365で据え置かれます。2/15以降は\$440、4/1以降は\$515となります。My RotaryのHPから登録出来ます。オンラインで登録なされると、キャンセルも容易に出来ます。よろしく願いいたします。

例会記録

会員総数 40名 出席会員数 31名

ゲスト 1名 その他 0名

ビジター 0名 事務局 2名

海外ビジター 0名 出席率 85.58%



ニコニコボックス

木元会員: 杉原さん、柳谷さんのご冥福をこころよりお祈り申し上げます。

細谷会員: ニコッと寄付致します。

須藤、佐藤、金田・莊村・時園会員:

藤田さん、お子様のお誕生おめでとう

内田会員: ニコニコだそうよ、ニコニコと!

藤田会員: 11月17日(火)長女が生まれました。名は葵(あおい)です。育児は大変そうですが楽しみでもあります。

時園会員: 娘の結納が無事終わりました。

荒川会員: コロナ感染増加、気を付けましょう

飯嶋会員: 会報雑誌委員長として、久保田先生のポリオのビデオ製作ありがとうございます。

木寅会員: 合気道五段。これはゴールではなく通過点として今後も精進します。

齊藤会員: 杉原先生のご冥福をお祈り申し上げます

加賀会員: コロナウイルスがこれ以上広がらませんように。

次回予告

第18回例会 2020.12.14 (#2292)

会場: 舞の間

例会ホスト・紹介係 中村君

受付係 秋山君 佐藤君

会費係 鈴木君

司会者 井関君

ソングリーダー 藤田君

卓話「俳句いろいろ」

俳人 行方 克己氏

紹介者 金田君

しんぐるまざーず・ふおーらむにおけるコロナ禍のひとり親支援

NPO 法人しんぐるまざーず・ふおーらむ事務局長

食料支援・新入学お祝い金事業担当 村山 純子氏 (11/9 卓話 時園会員紹介)



私どもは、児童扶養手当の改悪に対して立ち上がったシングルマザーの任意団体を母体として1980年に発足しました。1994年に「しんぐるまざーず・ふおーらむ」に改名し、2002年にはNPO法人となり、ひとり親当事者中心の支援団体として活動してきました。

以前は年4回のニュースレターを出していて、それを購読している人が会員という扱いでした。多いときで400人ほどいたのですが、購読料がだんだん払えなくなるということもあって無料のメールマガジンに変わり、現在会員は6200人に上ります。

現在、NPOとして就労支援事業、相談事業、セミナー事業、情報発信事業、子育て支援事業の5事業を展開しています。中でも就労支援事業では、日本ロレアルと協力して「未来への扉」というプログラムを、東京スター銀行と協力して「明日に花咲く」というプログラムを行っています。相談事業としては、電話やメールによる相談のほか、グループ相談会や食料支援もしています。

食料支援に関しては、相談を受けて支援が必要と判断された場合だけでなく、その方ももう少しつながりを持って相談を受けた方がよいと判断したときに食料を送って、暮らしぶりを知ったりすることが大きな目的になっていて、食料支援の比重は年々大きくなっています。昨年度は相談事業と連携して年間76世帯に行いました。

しかし、今年は新型コロナの影響で3月に一斉休校となりました。シングルマザーにとっては給食もなくなり、家計に大きな打撃となりました。そのとき実施した緊急アンケートでは、収入減が43%、収入なしが5%でした。例年この季節にお米支援をしていましたが、今年は「一斉休校を乗り切る！緊急米 come プロジェクト」ということで、3月は1094世帯にお米を、4月にも901世帯にお米5kgまたはおこめ券を送りました。

しかし、プロジェクトに合わせてアンケートを取ったところ、4月頭の時点で収入減が59%、収入なしが11%に増えていました。生活費を節約するために食事回数を減らした方が438人中59人、中には2日に1度だけ食事をしているという方もいました。

また、会員以外の相談も増えました。支援が報道されたことで3月には3100人だった会員が5月には4300人、11月には6200人まで増えました。昨年は76件だった個別食料支援件数も11月現在で245件に達しています。

しばらくは定期的に行うしかないと考え、「だいじょうぶだよ！プロジェクト」として2021年3月まで食料支援の継続を決めました。

ひとり親世帯がコロナによってこれほど困窮している背景には、そもそも生活状況が厳しいという事情があります。日本のひとり親世帯は世界的にも就業率が高いのですが、就労による年間収入は母子世帯で平均200万円です。子どものいる夫婦世帯の平均収入約700万円に比べて圧倒的に低いことが分かります。

さらに、一斉休校による就労不能に加え、非正規のために休業補償がなかったり、感染不安から外出を自粛したり、給食がなくなったことで出費が増えたりして、ますます追い詰められています。

国の施策として給付金の償還免除や生活保護申請の推奨がいられていますが、実際は自治体で償還義務が強調されるなど、機能していないケースも見られます。ひとり親支援団体が全国協議会を設立し、政策提言を行い、手当の上乗せが認められましたが、一方で離婚できずにいるなど、制度上ひとり親世帯と認められていない人たちはセーフティネットから漏れたままです。われわれはそういう人たちへの支援も考えています。その他、基金をつくって地方団体を応援したり、IT化に関する講座を開くなど、幾つかのプロジェクトが動いています。

シングルマザーは、性別や正規・非正規の格差などで平時から厳しい状況に置かれています。社会全体の問題としてこうした状況を変えていくよう、われわれは訴えていかなければならないと考えています。

クラブだより No.17

クリスマス家族会は中止です。

残念ですが、新型コロナウイルス感染拡大を鑑み、今期のクリスマス家族会は中止となりました。

12月21日(月)は通常例会となります。
いつも通りご出席ください。

東京麹町ロータリークラブ

設立	1968年6月17日	〒102-0093
例会日	月曜日 12:30	千代田区平河町1-3-8
例会場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ204号
		TEL:03-3263-9220
会長	須藤 仁	FAX:03-3263-9122
幹事	齊藤栄太郎	e-mail office@koujimachi-rc.jp
会報委員長	飯嶋 一晃	URL: www.koujimachi-rc.jp